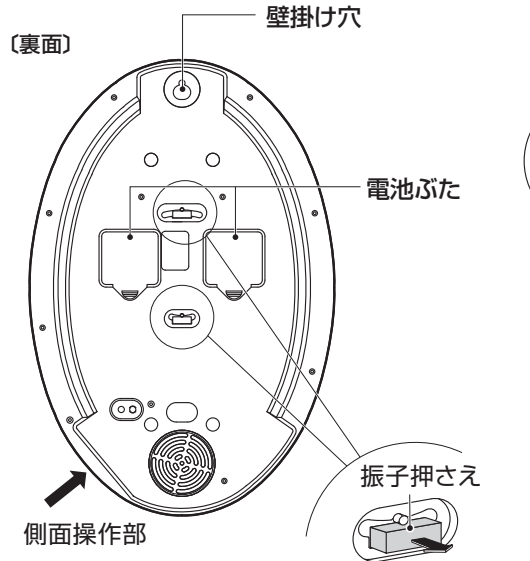
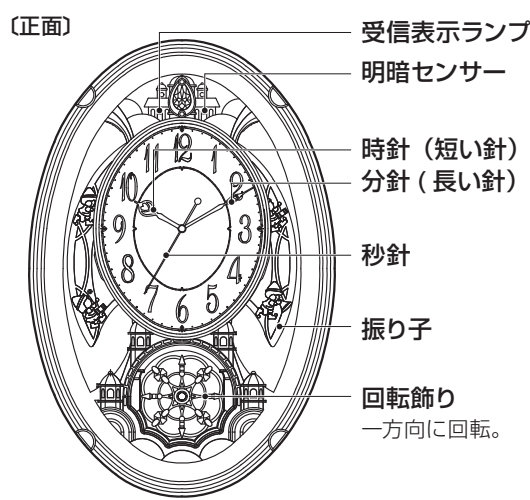


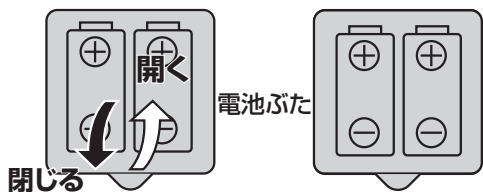
図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



④ 振子押さえを取る
輸送時などの振動や衝撃から保護するものです。必ず、使用するときは取り外し、輸送する際は取り付けてください。

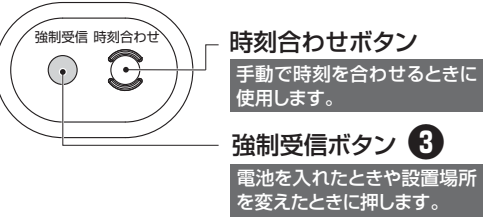
針の動き……通常の時刻表示
時計・分針：10秒に1回動きます。
秒針：1秒ステップで動きます。
※自動受信により、時刻を修正するときは早送り
で移動したり、停止することがあります。

〈電池の入れ方〉②

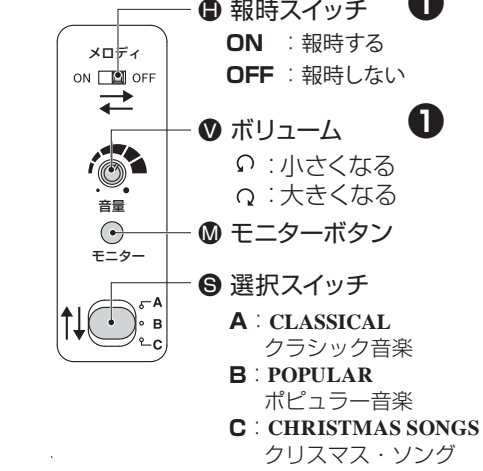


- ①電池ふたを引っ張って取り外す
- ②単2形マンガン乾電池4個を電池ホルダーに入れる。
- ③電池ふたを電池ホルダーの上のせて、押し込んで取り付け。

〈裏面操作部〉



〈側面操作部〉



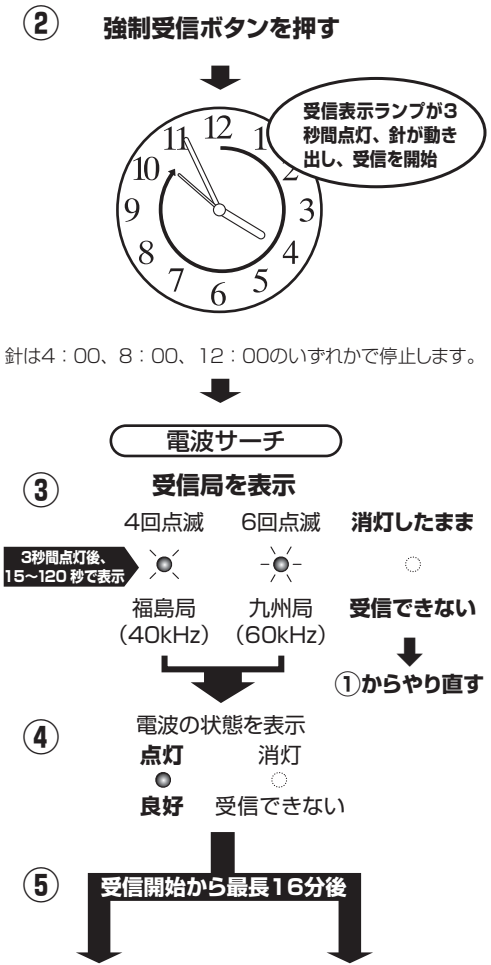
明暗センサーのはたらき……暗くなると止まる秒針

明暗センサーが暗いと判別した場合

- ▶ 受信表示ランプの消灯
- ▶ 秒針を12時位置で停止
- ▶ 報時の停止

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。十分に明るいところで秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要なことを表しています。裏面 ⑥ 電池の交換時期お知らせ機能 参照。

標準電波—受信の流れとサーチ機能の使い方



電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- ①窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
- ②強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送り移動し、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に停止します。
- ③受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- ④電波の状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない→場所を移動する
○点灯と消灯が繰り返される時は電波が弱い
ため、受信に失敗する可能性があります。
○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
- ⑤受信結果を表示します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられるので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく
と受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が
電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。
電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることでご利用になれます。

■ 手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動き
になってから操作してください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
☞ ⑥ 電波受信機能のON/OFF操作 参照。
時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押してしばらく押し続けると早送り動きます。このとき秒針は停止します。
秒針の動きについて
秒は、時刻合わせボタンを離れたとき、「0秒」に設定されています。
秒針が12時位置に停止しているときは、すぐに動き出し、他のところに停止しているときは、
秒針が指している時刻になると動き出します。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**標準電波を受信できない場合**の「手動での時刻合わせ」を参照してください。

- 窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
- ① 報時スイッチをOFFにし、音量を最小にする
報時スイッチがONのときに電池を入れるとメロディが鳴ります。
- ② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
〈電池の入れ方〉参照。
電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
- ③ 強制受信ボタンを押す **標準電波・受信の流れとサーチ機能の使い方** 参照
受信表示ランプが3秒間点灯し、受信を開始します。また、同時に針が移動を開始し、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻で停止します。
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。
※受信中はボタン操作をしないでください。
- ④ 振り子押さえを取る
- ⑤ 時計を掛ける
時計の掛け方 に従い、時計を確実に掛けてください。
- ⑥ 受信開始から16分後に受信結果を確認する
受信表示ランプが2秒に1回点灯すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。
消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探るか、**標準電波を受信できない場合** を参照してください。

報時の設定

報時は、毎正時にメロディを1曲奏でます。お好みに合わせて報時機能を設定してください。

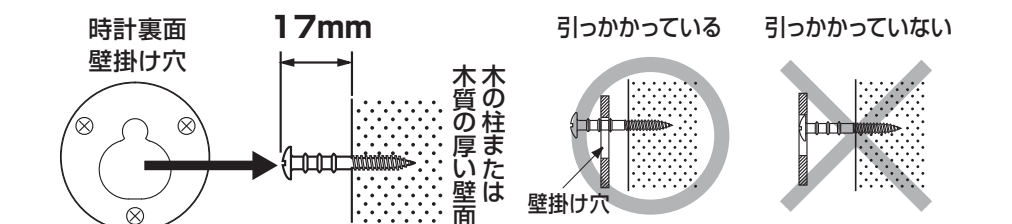
- ⑤ 報時スイッチ
ON：毎正時にメロディを1曲奏でます。
OFF：報時しません。
※報時スイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると自動的に報時をしなくなります。→ **明暗センサーのはたらき** 参照
- ⑥ 選択スイッチ
報時するメロディの種類を選択してください。
曲目は、時計裏面に表示してあります。
- ⑦ ボリューム (音量の調節)
モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームを回し、調節してください。
- ⑧ モニター (メロディの試聴)
モニターボタンを押すと、メロディを奏でます。メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと、つぎのメロディに切り替わります。
○選択スイッチで選択された種類のメロディを奏でます。
○つぎの正時には、再生の順番が1つ進みます。
※時刻ごとにメロディは固定されていません。
※時刻合わせボタンを操作して正時にしても報時をしません。

時計の掛け方

- 掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具 (木ねじ) がしっかり掛かっていることを確認してください。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

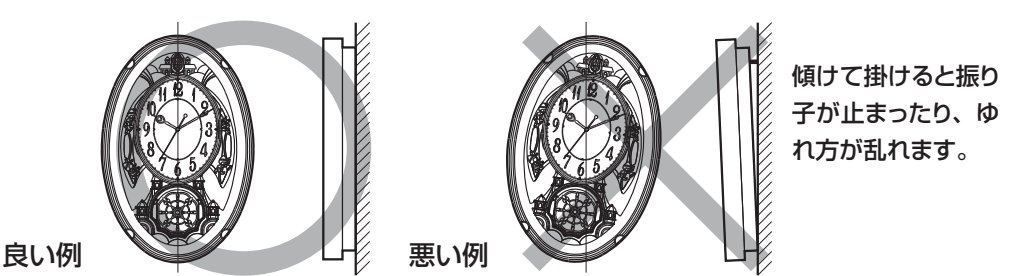
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計を垂直に掛けてください



標準電波受信機能のON/OFF操作

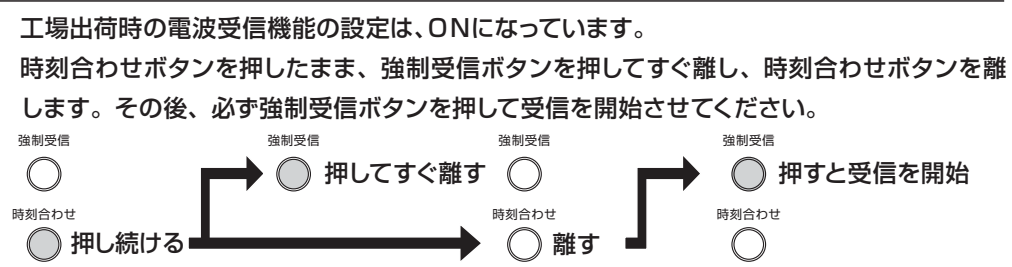
誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■ 電波受信機能をOFFにするには (停止するには)



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■ 電波受信機能をONにするには (開始するには)



ご注意
※この説明文の中で「押す」は、「押し、すぐ離す」ことです。
※電池を取り出しても長い時間設定を保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。